

単元名：自分たちの学校を案内しよう

科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	学校生活	言語レベル	1	必要時間数	8時間

I 単元目標

中国の交流校に事前に送ってもらった学校案内を見ながら自分たちの学校の案内図を準備し、来日した高校生と科目や先生について紹介しながら交流することができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる	😊	😊	😊			
できる	😊	😊	😊	😊	😊	😊
つながる	😊					

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆手紙を瀋陽の相手校に送り、交流を楽しむにしていることを伝えることができる。</li> <li>◆時間割を一緒に見ながら、科目の種類や担当の先生について紹介したり、好きな科目や嫌いな科目について話し合うことができる。</li> <li>◆相手校の校内案内図を見て理解することができる。</li> <li>◆教室や主な施設の案内板に中国語表記をつけたり、中国語版の時間割を用意することができる。</li> <li>◆瀋陽の高校生が来日したら、校内の施設(教室、職員室、体育館、図書室、プールほか)を案内することができる。</li> <li>◆中国の高校生をゲストとして迎え、案内しながら積極的に交流し、友だち関係を築くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校の施設や教育課程について、日中間あるいはそれぞれの国における学校間の比較をして、その異同を考えることができる。</li> <li>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ビデオから得られた情報をまとめて報告集を作ることができる。(情報活用)</li> <li>◆外国からのゲストの学校案内に必要な情報は何かを、相手の立場(国、世代)に立って考えることができる。(高度思考)</li> <li>◆日中の学校間交流の意味について考えることができる。(知識理解)</li> <li>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</li> </ul>

コミュニケーション能力指標	<p>【自分と身近な人びと】</p> <p>1-a. 学校の名前や所在地(都道府県や市など)を、言ったり書いたりできる。</p> <p>1-b. 中国語で書かれた時間割(何曜日、何時間、科目など)を見て理解できる。</p> <p>1-c. 時間割を見ながら、好きな科目や嫌いな科目について、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>1-d. 学校のこと(制服、給食、宿題、体育館・図書室ほかの設備の有無など)について、口頭でやりとりできる。</p> <p>1-e. よく使われる教室用語を聞いて理解したり、わからないときは、そのことを伝えたりできる。</p> <p>1-f. 授業やクラブを担当している先生(名前、性別、担当科目やクラブ、出身地など)を口頭で紹介することができる。</p> <p>【人とのつきあい】</p> <p>1-f. 招いたり招かれたりするときにあわす基本的な表現を、言ったり、聞いて理解したりできる。</p>
	<p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。</p> <p>数字は【言語レベル指標表番号】を表示している</p>

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価 (総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ロールプレイで学校の場所、施設の有無、好きな科目などの受け答え練習をする。(発話のスムーズさ、発音の正確さ)</li> <li>◆ロールプレイで得た情報をまとめてクラスメートを紹介する。(情報の正確さ、まとめ、発音の正確さ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆交流先に送る手紙のコンテストを行なう。(中国語の手紙のスタイルの適切さ、気持ちの効果的な伝え方)</li> <li>◆中国語で案内板を作成する。(表現・表記の正しさ、見やすさ)</li> <li>◆交流の様子を撮影したビデオをクラスで見る。(表現の適切さ、発音の正しさ、対話の量、参加の積極さ)</li> </ul>

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆二人一組で、まず簡単に自己紹介をし、所属する高校の所在地と名前をいう(「どこの何校?」)。その後「あなたの学校には〇〇がありますか?」とか、好きな科目は何かを尋ねたり答えたりするロールプレイを行なう。【1-a,c,d】</p> <p>◆ロールプレイのやりやりとりをして得た情報を基に、他己紹介として発表する。【1-a,c,d】</p> <p>◆自分の教わっている先生について紹介する。【1-f】</p> <p>◆中国の学校の時間割を探し、「〇〇は何曜日にありますか。」「ありますか」などの受け答えの練習をする。【1-b,c】</p> <p>◆授業の始まりの号令を中国語で行う。先生の「教科書を開きなさい」「音読しなさい。」などの指示を聞いてその通りに行動する。「わかりません」「もう一度言ってください」などの中国語を適切に使う。【1-e】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><b>&lt;場面状況&gt;</b> C高校では、瀋陽の交流校の高校生が交流にやってくることになり、中国語クラスで学校を案内することにした。</p> <p><b>&lt;活動の流れ&gt;</b> 瀋陽の交流校宛に、C校の名前や所在地、交流を楽しみにしていること、相手校の校内案内図を送ってほしいことを含めた手紙を書く。手紙のコンテストを行い、もっともよくできている手紙を実際に瀋陽に送る。瀋陽から送られてきた手紙と学校案内図を見ながら、C高校と比較し、C高校にあって相手校にはない施設(またその逆)についてどのように説明するか、留学生や中国人の先生に相談して準備する。案内をするのに役立つものを考え、教室や主な施設の案内板に中国語表記をつけたり、中国語版の時間割を用意したりする。 交流校の高校生を迎える当日、校内施設(教室、職員室、体育館、図書室、プールほか)を案内する。時間割と一緒に見ながら、科目の種類や担当の先生について紹介したり、好きな科目や嫌いな科目について話し合ったりする。交流の様子をビデオに記録する。 交流後、ビデオから得られた情報をまとめて中国語で報告集を作る。ビデオと報告集を相手校に送る。</p> <p><b>ヒント</b> ◆瀋陽の高校生とB高校の生徒の科目の好き嫌いについてまとめ、教室に掲示してもよい。 ◆交流校の生徒を迎える機会がない場合は、中国語で作成した学校の案内図や時間割を学校のホームページに掲載するなど活動をしてよい。</p>	
<b>&lt;使用教材・教具&gt;</b> 中国の学校の学校案内・校内案内図、プレートになる厚紙、拡大コピー機		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><b>&lt;表現&gt;</b> 我们盼望着你们的到来。/这是我们的课程表。/我喜欢学习历史。/这位是山田老师，他教我们英语，教得很认真。/我是横滨第三高中的学生。/我学习汉语。/我们学校有食堂。/教室里没有空调。</p> <p><b>&lt;表現のポイント&gt;</b> A“是”B、“的”、場所+“有/没有”+もの、“~里”</p>	<p>数学、语言、历史、家庭、办公室、游泳池、体育馆、操场、初中、高中、中学、高等学校、大学、年级、班、补习学校、上学、留学、升学、食堂、操场、体育馆、图书馆、办公室、教室、小卖部、校歌、校规、校训、学生食堂、课本、黑板、桌子、椅子、词典、铅笔、校长、副校长、老师、班主任、班会、板报、家长、家长会、男生、女生、同学、高考、学生会、课堂、课程表、开学典礼、入学典礼、毕业典礼、运动会、长跑、马拉松、文化节、考试、笔试、面试、期末考试、期中考试、修学旅行、春游、成绩单、成绩、学生证、必修课、选修课、放假、暑假、寒假</p>	<p><b>&lt;事象&gt;</b> ◆学校の施設 ◆学校の教育課程 ◆学校間交流</p> <p><b>&lt;事象のポイント&gt;</b> ◆学校の施設や教育課程について、日中間あるいはそれぞれの国における学校間の比較をして、その異同を考える。 ◆中国の高校生に関心を寄せ、外国からのゲストとして歓迎する姿勢を育む。 ◆学校間交流は、互いの言語学習に役立つだけでなく、相手という人間、相手が属する文化や社会への理解、異文化間の付き合い方を学び、将来協働して社会貢献するための素地を作るといふことについて理解する。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋	
交流校の高校生、交流校の学校案内、日本に在住する中国人留学生	情報、社会	